

福岡市民の森における recreation 利用者の視覚による可視判定の試み

九州大学農学部 ○高木 勝久・青木 尊重・上野 邦彦

福岡市民の森における recreation 利用者の苑内流動行動を軸として、利用者の視覚と多面体として取り扱った地形の近似標高を結びつけ、図-1で示す解析手順によって市民の森周辺の森林地において視覚対象となる視覚頻度を計算し、recreation 利用者の視覚

量を面的にとらえる試みをおこない、その結果出現した若干の問題点について報告した。

詳細は、九州大学演習林報告第47号、を参照されたい。

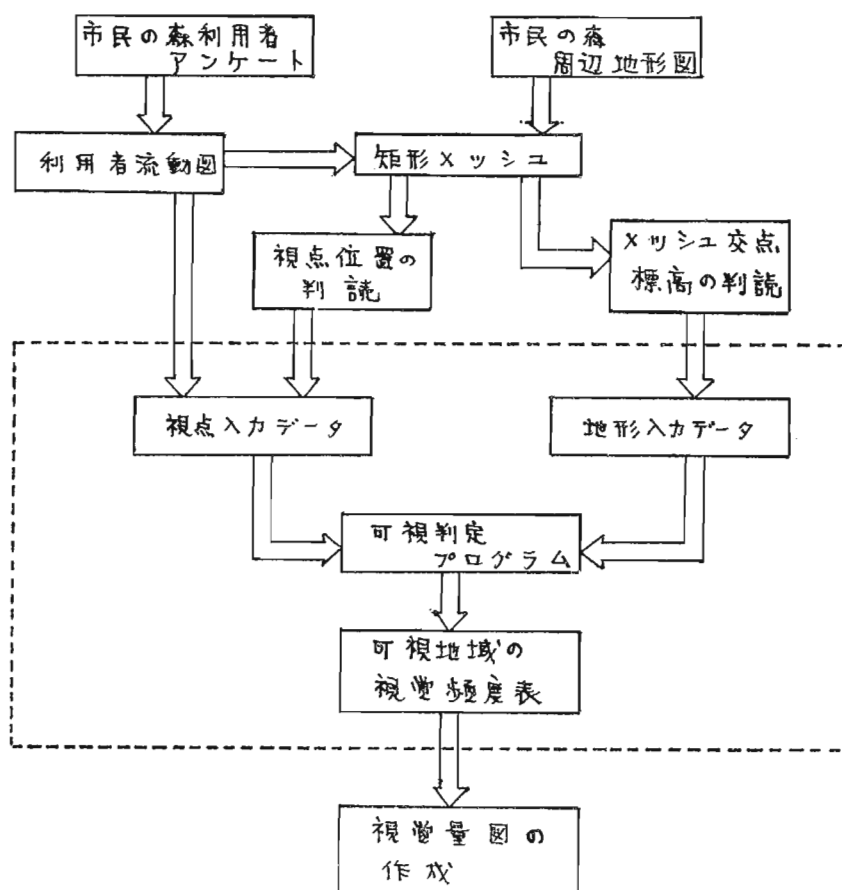


図-1 解析の手順